

# 自治協ニュース

第2708号  
発行者  
八本松小学校区  
住民自治協議会  
H27. 12. 20

# 八本松小学校 P T A 文部科学大臣表彰を受賞

小学校や地域住民の皆さんと一体となった取り組みが評価

八本松小学校 P T A (会長 高橋孝明) は11月19日「平成27年度優良 P T A 文部科学大臣表彰」を受賞。この表彰は P T A の健全な育成と発展のために行われるもので、今年度は全国137団体中ホテルニューオータニ(東京都千代田区)で開かれた表彰式に参加した。八本松小学校 P T A の他3団体が表彰の栄誉に輝いた。八本松小学校 P T A



## 表彰状

は学校の主要行事への積極的な対応の他、地域住民の方との組織的な見守り活動により児童の安全確保を図るとともに、住民自治協議会等と連携を強化し、地域の伝統行事や文化・運動等の催しものへの児童の参加を促し、故郷を思う心を育む取り組みが高く評価された。表彰式に参加した高橋会長は、「これは保護者の方や住民の方をはじめ先生方や住民自治協議会等地域の皆さんの一丸となった取り組みの成果であり、そのご努力に感謝と敬意を表しますとともに今後八本松小学校 P T A 活動へのご理解とご協力を賜りたい」と語った。

## 八本松南地区社協

# 広島県社会福祉協議会会長表彰 受賞

## 25年にわたる福祉活動が評価

## ユニークな高齢者地域サロン「ふれあい会」の活動

八本松南地区社会福祉協議会(会長 林守)は11月11日 広島県社会福祉会館で開催された「広島県ふくしのまちづくりのつどい」において広島県社会福祉協議会会長表彰を受賞した。

八本松南地区社会福祉協議会(会長 林守)は平成2年に設立以来25年の永きにわたる地域の福祉活動に努力してきた。特に、高齢者に



表彰式参加役員(左から)東、川崎、林、浮田の各氏



広島県ふくしのまちづくりのつどいで受賞する林会長(右)

集いの場を提供する「ふれあい会」の高齢者サロン活動は、会員の特技を生かした「漬物の付け方」や「洒落た帽子の編み方」の講習など多岐にわたる内容で、

高齢者の生きがい対策や地域の福祉活動の大本となるとともに、地道で継続的なサロン活動が高く評価された。林会長は「今後も手短かでユニークなサロンを開催し、ふれあい会の参加者に伝えたい」と語った。

# 八本松南 2地域で総合防災訓練

## 工夫した取り組みで防災意識の向上を図る 東広島消防署西分署 協力

八本松みなみ地区  
区自主防災会(会長 横井國興)は  
12月6日防災訓練  
を99名の参加を  
得て実施。自主防  
災会発足後4回目  
の訓練で今回は防



名前を読み上げ集合者を確認する班長 参加していない人の情報も収集

### クイズで防災意識の向上を図る

八本松みなみ  
地区の集合場所での安否確認と避難行動から  
消火・搬送・救護まで 実体験

災マップに記載さ  
れた「地区の集合  
場所」から「一時  
避難場所」までの  
避難行動の体験と  
地区の集合場所  
の安否確認の徹底  
を図った。避難行  
動で早い班では安  
否確認開始後13分  
で一時避難場所に  
避難ができた。  
また、防災訓練  
では実際に燃える  
火を消化する模擬  
火災消火訓練や車  
椅子の取り扱い訓  
練など実際に体験  
は少ないが重要な  
訓練が盛り込まれ  
参加者も真剣に取  
り組んでいた。  
また、防災知識  
を高めるための防

災マップに記載さ  
れた「地区の集合  
場所」から「一時  
避難場所」までの  
避難行動の体験と  
地区の集合場所  
の安否確認の徹底  
を図った。避難行  
動で早い班では安  
否確認開始後13分  
で一時避難場所に  
避難ができた。  
また、防災訓練  
では実際に燃える  
火を消化する模擬  
火災消火訓練や車  
椅子の取り扱い訓  
練など実際に体験  
は少ないが重要な  
訓練が盛り込まれ  
参加者も真剣に取  
り組んでいた。  
また、防災知識  
を高めるための防

災クイズが初めて  
実施され、消防士  
の方も高レベルと  
評する出題に多く  
の方が正解。充実  
した訓練内容にと  
もに参加者も増え  
ており、防災意識  
の向上が伺えると  
消防署は講評した。



クイズで10問中9問を正解した成績優秀者

防災クイズ「最も多い火災の原因は A放火 Bたばこ C料理中

八本松南4・5  
地区自主防災会は  
12月13日防災訓練  
を実施。自主防災  
組織結成後 初め  
ての訓練であった  
が116名の多く  
の方が参加。安否  
確認・避難・初期



バケツリレーする大人たちと応援する子どもたち

### 116名のバケツリレーで結束

八本松南4・5  
地区の集合場所での安否確認と避難行動から  
消火・搬送・救護まで 実体験

確認・避難・初期  
最後に満井消防  
署西分署長は避難

でも安否確認開始  
後2号線側道を経  
由し約17分で一  
時避難場所(八本  
松地域センター)に  
到着。  
116名の長距  
離バケツリレーで  
は給水・リレー・  
放水に分担し子供  
たちの「そーれ」  
の掛け声で見事な  
バケツリレー。ま  
た、他の応急救護  
の訓練でも積極的  
な参加で貴重な体  
験をされた。  
最後に満井消防  
署西分署長は避難

訓練で集合場所に  
来ていない人の情  
報を把握すること  
が最も重要で、異  
常があった場合今  
日の経験が役立つ  
はずと講評。  
日高会長は、  
「今後 気象や非  
常食などの防災研  
修を2月ごろ実施  
する予定。初めて  
の訓練に多くの方  
が参加され感謝す  
る」と述べた。

### 災害10メモ

震度6強とは  
今後30年以内に  
起こるとされてい  
る安芸灘・伊予灘  
地震の市内想定震  
度。(東広島市)  
立っていられず  
家具のほとんどが  
倒れ、木造建物で  
は倒れるものが多  
くなる。(気象庁)